

かながわ湘南西 障福ナビだより



令和4年5月31日 第119号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

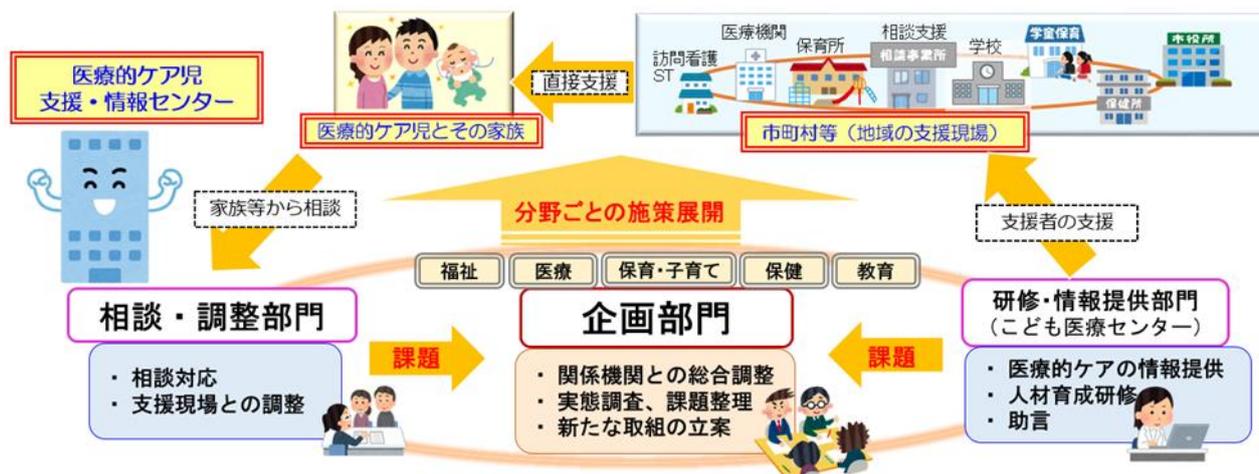
〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

医療的ケア児支援・情報センター設置に向けた 湘南西部圏域情報交換会

昨年9月の医療的ケア児支援法の施行を受けて、神奈川県では令和4年5月31日（火）から「かながわ医療的ケア児支援・情報センター」（以下、「センター」という）を開設しました。センターは下図のように3つの部門で構成されています。相談・調整部門は、医療的ケア児等とその家族、支援者を適切な機関につなぐ相談窓口として、月曜日～金曜日（土日・祝・12月29日～1月3日を除く）9時30分～16時（12時～13時を除く）に、相談専用電話で相談を受け付けます。ファクシミリ、ホームページのフォームメールでは24時間の受付となっていて、Line相談は準備中です。詳細は、神奈川県のホームページをご確認ください。

湘南西部圏域では、これに先立ち、センターの相談・調整部門の受託事業者と圏域内市町との連携の手順について確認することを目的に、令和4年5月23日に「医療的ケア児支援・情報センター設置に向けた湘南西部圏域情報交換会」をWebで開催しました。参加機関は、センターの相談・調整部門受託事業者、市町行政、各市町の医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者の一部、保健福祉事務所です。圏域内市町では、医療的ケア児等コーディネーターの配置に向けた協議が活発に行われており、まさに医療的ケア児とそのご家族への相談支援体制整備の真っ最中です。このタイミングで、センターから地域で相談を引き継ぐケースが出てくることに対し、地域の中では戸惑いもありますが、むしろ、実際のケース対応を通じて実効的な体制整備につながる好機とも捉えられています。センターとの連携を積み重ねながら、今後も圏域内市町で協議していくことになりました。

かながわ医療的ケア児支援・情報センターの全体イメージ



秦野市・伊勢原市 にも包括に関する意見・情報交換会



令和4年5月27日(金)に、秦野市西庁舎で開催しました。出席者は、平塚保健福祉事務所秦野センター、秦野市障害福祉課、秦野市基幹相談支援センター(ばれっと・はだの)、伊勢原市障がい福祉課(伊勢原市基幹相談支援センター)、地域移行支援実績のある相談支援事業所から合計11名参加いただきました。そもそものきっかけは、神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業が秦野・伊勢原地域で再開することを受け、関係機関と連絡調整する中で、退院支援や地域での生活支援で課題感を抱えている機関が複数あることが分かったことでした。会議では、各機関からにも包括に関する取り組みと具体的な課題について報告いただきました。主な課題としては、

① 地域生活での危機管理をどこまでやれるのか。
 ② 地域からの入院患者数など支援が必要な方の全体像がとらえきれていない。
 ③ 我々が不動産業者などの地域資源の情報に精通していない。
 ④ 退院後の主な受け入れ先であるグループホームの現状について、病院側に適切に情報が伝わっていない。
 ⑤ 当事者活動の場がまだ少ない。
 ⑥ 精神障害のある方を支援する相談支援専門員、グループホーム職員を支える仕組みが必要。
 ⑦ 地域移行支援は対象者を6か月以内に退院の見込める方としているが、精神科病院が地域移行支援を依頼してくる方は、中々そのような方は少ない。依頼を受けてから地域移行支援が始まるまで無報酬の期間が長くなるため、相談員が受けたがらない。
 ⑧ 地域では退院後からが本番だが、病院との関係が薄くなり、地域関係者だけでは持ちこたえられない時がある。

などが挙がりました。また、反対に病院としては、一旦入院するとそれまで関わっていた支援者の姿が見えなくなるという課題を感じている可能性があることも分かりました。そのため、課題解決

のための大きな方針として、病院から地域へ、地域から病院へと“バトンをつなぐ”のではなく、“共に伴走する”ことを目指したいということ、そして、その土台作りとして、医療と福祉の双方が事例を通じて意見交換し互いの理解を深めることを目的に、事例検討会を開催することを目標に据えました。その実現に向けては、既に平塚保健福祉事務所秦野センターで関係会議が開催されているため、その場の活用を視野に、今後調整を進めていくことになりました。



秦野市 石川課長、伊勢原市 平井課長も出席されました。



会議終了後は、出前のお弁当でランチをとりながら、和気あいあいと情報交換が進みました

【あとがき】上記は、ナビ主催の会議では久しぶりの対面開催でした。どんどん挙がる意見をホワイトボードに書き連ねていくに従い、参加されている方の集中力と会場のボルテージが上がり、化学変化が起きて結論が導き出されました。対面開催の良さを満喫した会議でした。楽しかった！